

モデルロケット指導講師が教える

第4級従事者養成の基本内容

A,モデルロケット工学

- 1,ロケットの推進原理 作用・反作用、風見効果について
- 2,宇宙へ飛び出すには、第一宇宙速度 毎秒 7,9km
- 3,無重量状態は何故起きるか。 自由落下の法則
- 4,モデルロケットの基本構造
- 5,モデルロケット・エンジンの基本構造
 - A,B,C,D 型の意味、全力積、A8-3 など数字の意味、燃焼時間の計算法
 - ブースターエンジンの数字 0 の意味
 - イグナイターの構造について
- 6,モデルロケットを打ち上げる方角について、
風見効果とパラシュートの関係による定点着地について
- 7,高度の測定法、測定地点について
- 8,リカバリーワディングについて
- 9,モデルロケットの安全装置について
セーフティキー、発射台 30 度まで
- 10,多段式、束ね式について
- 11,自作ロケットの基本について
重心 C.G、 圧力中心 C.P、 スtringステスト、カードボード法

B,安全な取り扱いについて

火薬類取締法に基づく

日本モデルロケット協会の自主消費基準を学ぶ

点火者の位置、待機者の位置、見学者の位置、打ち上げ準備所の位置について、消費場所で守ること。

C,モデルロケットの組み立て実習

D,打ち上げ実習

A8-3 エンジン、または 1/2A6-2 エンジンを使用して、安全な打ち上げ・回収を 1 回以上実施する。

E,基本の講習を終了したので、履修証の授与または従事者証の配布。